

丹後織物

2020 丹後ちりめん
創業300年

No.
847

2015.11.15

本年度の目標

- 機業振興及び経営安定
- 産地ブランドのPR強化

TANGOORIMONO

発行所 丹後織物工業組合 京都府京丹後市大宮町河辺3188 TEL0772-68-5211 FAX0772-68-5300 <http://www.tanko.or.jp>

秋恒例の大イベント

2015 丹後きものまつり in 天橋立

第16回

京都
in 天橋立



去る10月18日、日本三景天橋立において「2015丹後きものまつり in 天橋立」を開催しました。地元宮津市と（公社）天橋立観光協会、宮津商工会議所、当組合を中心に実行委員会を組織し、和装振興と観光のコラボレーションによるこのイベントは本年度16回目を迎えました。

豪華賞品満載の「大抽選会」をはじめ、ステージイ

ベントでは公募モデル6名が2016丹後ちりめんカレンダーきものを着て花魁とコラボした「きものショー」に登場、またフリースタイルフットボールチーム「アレッグ」のパフォーマンスや雅楽などが繰り広げられた他、「野点」、「人力車」、「きもの de ワークショップ」、「似顔絵」など多彩な催しに、約1,100名のきもの姿の参加者で終日賑わいました。

参加者からのお声

○初めて参加させていただきましたが、たくさんの方々のきものや帯を拝見させていただき、とても楽しい1日でした。勉強になりました。

〈50代女性ほか多数〉

○大変良いイベントでした。来年も楽しみにしています。〈70代女性ほか多数〉

○きものでの参加者が多く、統一感を感じられました。人力車などのサービスも良かったです。〈10代女性ほか多数〉

スタッフより

○多くの参加者で1日賑わい、例年よりも初めて参加される方が多かったように思います。参加者のみなさまから寄せられた意見を参考に、今後もより多くの方に「満足いただけるイベントを目指していきたい」と思います。



網野機業組合研修



網野機業組合では、9月13日、14日の2日間、17名で滋賀県へ視察研修を行いました。

まず、琵琶湖大橋を渡り佐川美術館へ。平山郁夫画伯の雄大なシルクロードの絵に感動。力強さと生命力を感じ、ため息の連続でありました。

次に研修の目的地である近江上布伝統産業会館へ。滋賀県麻織物工業協同組合の田中様より近江の麻織物の歴史、技術について丁寧に説明を受けました。

室町時代より続く近江の麻織物は、鈴鹿山脈からの湧水が豊富で、加工、仕上に最適な場所であり、全国でも数少ない産地であるそうです。

技術の伝承に尽力されている組合の皆さんに感銘を受け、丹後も頑張らねばと感じた我々でした。

2日目は長浜城や黒壁スクエアを散策し、滋賀県の「和」を堪能しました。

(文：網野機業組合 組合長 吉岡和弘)

各機業組合の

新着情報

島津機業組合視察報告

島津機業組合では10月18日(日)、総勢15名で京都市内を視察しました。京都国立博物館では琳派400年特別記念展示を見学。丹後ちりめんの意匠に強く影響を与えてきた琳派の歴史について学び、代表的な作家の作品を見学しました。

また京都絞り工芸館では、絞りの技術を活かした様々な商品開発や海外へ情報発信することで、絞りの伝統技術を守り継承していく取り組みを学びました。

(文：島津機業組合 一組合員)



織物始祖祭

森田翁慰霊祭

各地で始祖達の遺徳を 偲ぶ行事が挙行

10月から11月にかけて、享保の昔「ちりめん織り」の技法を丹後に伝え、現在の丹後産地の礎を築いた森田治良兵衛、手米屋小右衛門、山本屋佐兵衛、木綿屋六右衛門ら始祖達の遺徳を偲び丹後機業の発展を祈念する行事が各地で行われました。



金色蚕糸神祭

始祖祭

金色蚕糸神祭

10月25日、ちりめん街道にある養蚕、生糸、織物の守護である金色蚕糸神を祀る実相寺において金色蚕糸神祭が執り行われ、地元行政や商工会、機業関係者、当組合の渡邊正義理事長等が参列し丹後産地の発展を祈願しました。

始祖祭

10月26日、京丹後市峰山総合福祉センター(旧組合本部)前のちりめん苑「始祖顕彰碑」前において、組合主催の「始祖祭」を挙行し、京都府丹後広域振興局山内一局長、京都府織物・機械金属振興センター高田慶一郎所長をはじめ、組合役員、職員らが参列するなか、神事を執り行い、現下の厳しい状況から脱却するべく組合員一致団結することを誓いました。

織物始祖祭

10月31日、与謝野町三河内の織物始祖顕彰碑横の梅谷会館において「織物始祖祭」(与謝野町商工会主催)が挙行され、織物業界をはじめ関係機関の方々が参列するなか、同町出身の手米屋小右衛門、山本屋佐兵衛、木綿屋六右衛門ら3翁の遺徳を偲び、丹後機業の発展を祈念しました。

森田翁慰霊祭

11月4日、森田治良兵衛翁の菩提寺である京丹後市峰山町の常立寺にて「森田翁慰霊祭」(森田翁顕彰会主催)が挙行され、業界をはじめ関係機関の方々、組合からは松村新生副理事長が参列しました。森田翁慰霊祭は、毎年、森田翁の命日である11月3日前後に開催されており、翁の功績をたたえ遺徳を偲ぶとともに丹後産地の発展を祈念しました。

丹後織物総合展 Tango Fabric Marche 開催!

10月28日(水)～30日(金)の3日間にわたり、蚕糸会館及びジャパンシルクセンター(東京都千代田区有楽町)にて丹後織物総合展「Tango Fabric Marche」を開催しました。(来場者 約200名)

今回も「糸(いと)」をテーマに、「糸の個性×織りの技術」やデザインを融合して製織したバラエティー豊かな素材などを合同出展し、商談を行うとともに総合産地をPRしました。

アパレル、デザイナー、インテリア、流通業者などに対し、産地及び製造業者の高度な技術力と商品力を幅広く提案し積極的な商談が展開されました。一般来場者にも丹後織物をPRすることができました。

来場者からは、「ちりめんの多様な分野への活用を見ることができて良かった。ちりめんと言えばきものという固定観が変わりました」「インパクトある素材を見ることができた」「今まで自分の知らなかった織技術に関して知識が持てた」など丹後産地へ向けたメッセージもいただきました。

【出展業者】(株)一色テキスタイル・(株)糸利・(株)大江・コウジュササキ(株)柴田織物・創作工房糸あそび・民谷螺鈿(株)田勇機業(株)宮眞(株)安田織物(株)由里機業場



デザインギャラリー 1953企画展

丹後織物展覧会「Tango Twist—糸と織のリズム」開催

10月14日～11月9日に亘り、東京・松屋銀座7階のデザインギャラリー 1953において丹後織物展覧会「Tango Twist—糸と織のリズム」を開催しました。

この事業は、新しい丹後産地のデザイン・商品開発を進め国内外にPRを行うため、またこの事業を通じて産地の意識改革や人材育成、今後のファッション業界を担う若手デザイナーやバイヤー等と織物事業者の交流を深めるきっかけを作り、今後の取引

や販売ルート獲得につなげるため、日本デザインコミッティーの協力を得て実施しました。

10月14日にはデザインサロントークとレセプションが行われ、デザインサロントークではテキスタイルデザイナーの須藤玲子氏、田茂井勇人氏(田勇機業株式会社 代表取締役)、安田章二氏(安田織物株式会社 代表取締役)により、丹後のものづくりについて熱いトークが繰り広げられました。

会期中は、多くの学生や一般消費者の来場もあり盛大に幕を閉じました。



2016年丹後ちりめんカレンダー&年賀はがき好評販売中!!

2016年版はTVなどで活躍中の「内藤理沙」さん・「鹿沼憂妃」さん・「春輝」さん・「押田瑞穂」さんが彩りを添え華やかにお届けします。

サイズは2種類(ポスターサイズ・レギュラーサイズ)と年賀はがきをご用意、組合本部及び中央加工場・岩滝加工場・アミティ丹後にて販売(年賀はがきは組合本部のみ)しています。在庫がなくなり次第、販売終了いたしますので、お求めはお早めをお願いします。

○レギュラーサイズ
「風彩美」
動きのあるデザインで、躍動感のあるカレンダーに仕上げました。
(75cm×34cm)
360円(税込)



○ポスターサイズ
「伝承～受け継がれるちりめん」
きものならではの彩り鮮やかな装いととも、丹後ちりめんの白生地を背景に紹介。
(90cm×61cm) 720円(税込)



○年賀はがき(私製はがき)
1枚 12円(税込)

〈お問い合わせ〉丹後織物工業組合 総務1課 TEL:0772-68-5211 FAX:0772-68-5300 <http://www.tanko.or.jp/> E-mail:tanko@tanko.or.jp

JFW JAPAN CREATION 2016 A/W 開催告知

来る11月25日・26日、アジアNo.1の発信力を誇る日本発の国際繊維総合見本市「JFW JAPAN CREATION2016」が開催され、一般社団法人日本絹人織織物工業会のブースに丹後織物工業組合として3社が出展します。是非お立ち寄りください。

出展業者:株式会社 大江、タカモトシルク 有限会社、有限会社 山政テキスタイル

くろーずあつぷ 丹後人!

★丹後の技術を世界に発信



クスカ株式会社 代表取締役 楠 泰彦さん (与謝野町岩屋)

経済産業省が日本の誇るべき優れた地方産品を発掘・選定し、世界に広く伝えていくプロジェクト『The Wonder 500 (ザ・ワンダー・ファイブハンドレッツド)』にクスカ株式会社のネクタイ『Fresco Tie (フレスコタイ)』が選ばれました。今回、そのネクタイを製作された代表取締役の楠泰彦さん取材しました。

『The Wonder 500』は、経済産業省がクールジャパンによる地域活性化の事業として、日本が誇るべき優れた地方産品を発掘・選定し、海外に広く伝えていくプロジェクト。『ものづくり』『食』『観光』のカテゴリで、合計500商材を全国47都道府県より選定しており今回『Fresco Tie』が「ものづくり」の分野で選ばれた。『Fresco Tie』は、丹後ちりめんので培った技術により手織りで作られた絹製のネクタイで、絹の光沢と手織りならではの立体的なポリウムがある。フレスコとは、織り目が浮いて見えるさらりとした感触の織物のこと。

きっかけは、地方産品の発掘・選定に携わっているプロデューサーの1人に推薦していただいたとのこと。選ばれたことについて「光栄に思います。丹後ちりめんの技術や歴史があったからこそ選ばれたと思っており、今後丹後から世界に発信するものづくりをしていきたい。」と喜びを語っていただきました。選定された産品は、すでに国内各地でのセミナーや交流イベント、海外

を含むPR・展示イベントなど展開されている。

楠さんは30歳まで東京で建設関係の仕事をしてきたが、家業を継ぐため丹後に帰郷、2年の修行を経て32歳でクスカ株式会社の3代目として代表取締役に就任し、現在に至っている。創業は昭和11年で、ちりめん製造販売業を開始し、昭和46年にクスカ株式会社を設立、平成10年に大量生産ではなくこだわりの逸品を作るため手織り機を導入、楠さんが代表取締役に就任した平成20年には力織機を全て撤去して手織りの一本化を行い、平成22年に『伝統』『ファッション』『芸術』の3つの融合をコンセプトに新しいラインとしてKUSKA (クスカ) というブランドを立ち上げている。

「現在、自家工場内には20代から60代までの9人の織り手さんが従事しており、OEM (相手先ブランドによる生産) 向けの和装用の白生地やシヨール生地、自社ブランドのメンズ服飾雑貨、主にネクタイやストールを中心に展開しています。自社ブランドは、主に東京の小売店で直接販売しており、複雑な流通は通していません。」

今後については、11月からANAの国際線200便でネクタイの機内販売、12月に京都・烏丸三条でシヨールルームを展開するといふ。

最後に「世界に向けて発信することで、丹後が盛り上がってくれたらと思っています。」

『Fresco Tie』は、一人の職人が1日に2、3本程度しか織ることができないこだわりの逸品。是非、買ってお試しください。」と語られました。

組合職場訪問 ② Introduce

岩滝加工場原動・排水

今回の職場紹介は、岩滝加工場で29年間原動・排水処理の業務に携わっている西村正浩さんをご紹介します。



職場では、どんな業務をしていますか。

A 主にボイラーと排水処理設備の運転をしています。後は工場内の機械や配管の修理などできることは何でもやっています。

Q 今までを振り返って一言お願いします

A 初めは中央加工場で6年半ほど精練や整理加工、準備など経験し、岩滝加工場へは、応援の形でこちらにきました。すると原動にいた方が退職されて欠員ができたため、どうだと言われて正式に配属されました。そのときは、免許も持っていなかったし一からのスタートでしたので、何も分からず苦労しました。この現場に来てから、ボイラー技士や公害防止管理者(水質・大気関係)など必要な免許を取りました。

Q これから取得したい免許は?

A 管工事施工管理技士の免許が取りたいのですが、経験年数が要るのでなかなか難しいかなと思っています。

業務で気を付けている点は…

A 安全と確実な作業を心掛けています。ここが止まれば工場が止まるので、安全に工場が動くように気を付けています。また、ここで事故が起こったら対外的にも影響するので、とにかく確認は怠らないようにしています。

Q これだけは誰にも負けない技術はありますか?

A 当たり前のことだと思えますが、配管修理をして一度も漏らしたことはありません。確実な仕事をしていると思っています。

Q プライベートでは、何をしていますか?

A 週に3日、バトミントンをしています。町の大会では優勝したこともありましたが、そんなに上手くないです。下手の横好きです。(笑)

後、考古学に興味があり高校のときにもクラブに入っていました。歴史、特に弥生時代から奈良時代が好きで、年に1回は奈良に勉強がてら行っています。正倉院展には30回くらい見に行っています。

丁寧な仕事に定評のある大ベテランの西村さん。これからも頑張ってください。

京都・丹後の伝統 『丹後ちりめん』の絹から生まれた 絹セリシン配合商品ラインナップ

好評発売中

絹セリシンのすばらしい効果

- 保湿効果が優れている
 - 外部刺激からお肌を守るバリア効果
- ぜひ実感してください。

きぬもよふハンドクリーム

肌荒れが気になる季節になりました。
ここからがハンドクリームの
出番です！

特 徴

- *お肌へのなじみが良い。
- *良く伸びる。
- *ベタつきが少ない。
- *手がすべすべに！



きぬもよふ化粧品

- スキンソープ（洗顔ソープ）
- スキンローション（化粧水）
- エッセンスリッチ（美容液）
- スキンクリーム（保湿クリーム）



まゆのお風呂

スキンケア入浴液（乳白色の湯）
ボトル 500ml / 約20回分
つめかえ用 450ml / 約18回分

ボディ全体の乾燥による
カサカサ肌・粉ふき肌に！
荒れ性・お肌の弱い方に！



まゆのお風呂 弔事用セット



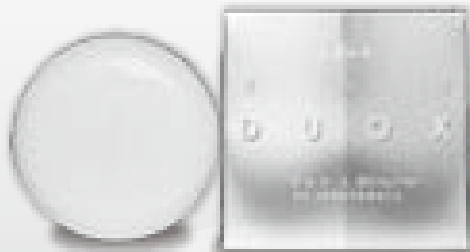
スキンケア入浴液（乳白色の湯）
1回分（25ml）×4包入

500円（税抜）

丹後地域の葬儀会社で
お取扱いしています。

DUOX石けん

- 茶カテキン（消臭）・セリシン（保湿）複合体を原料とする
ボディ石けん。
- 汗の臭い、加齢臭、生もの調理後のいやな臭いを
減少させる効果があります。



〈お問い合わせ先〉丹後織物工業組合 新規事業部 TEL0772-64-2871

京都府最低賃金のお知らせ

京都労働局

京都府最低賃金を18円引き上げ

京都府最低賃金（地域別最低賃金）が平成27年10月7日から18円引き上げて807円に改正されました。

京都府最低賃金	適用対象	現行	改正金額
時間額	京都府下の事業場で働くすべての労働者及びその使用者	789円	807円

京都府内の使用者は、この金額より低い金額で労働者（パートタイマー・アルバイト等を含む）を使用することはできません。

除外賃金

最低賃金には次の賃金は算入されません

- ① 精・皆勤手当、通勤手当、家族手当
- ② 時間外・休日及び深夜手当
- ③ 臨時に支払われる賃金
- ④ 1か月を超える時間ごとに支払われる賃金

詳細は京都労働局労働基準部賃金室（電話075-241-3215）又は最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。

必ずチェック 最低賃金！ 使用者も、労働者も。

丹後織物永年勤続従業員を表彰

組合では、丹後機業の振興発展に尽くされた方々をたたえるため、毎年丹後織物永年勤続従業員の表彰を行っています。本年は組合員事業場の従業員及び組合職員の合わせて41名の方々に対し、表彰状と記念品を贈呈しました。

また、その中で特に永年の功績が認められた方に、優良従業員として一般社団法人日本絹人織織物工業会会長賞が贈られました。

一般社団法人日本絹人織織物工業会
会長賞
(順不同)

室田 裕子 氏 川八工場
大下 清和 氏 株式会社 竹林

最低工賃を守りましょう！！

丹後の区域内で、絹織物に係る織布を家内労働者に委託する委託者は、丹後地区内に適用される最低工賃額以上の工賃を支払わなければなりません。

詳しくは京都労働局、または労働基準監督署までお問い合わせください。

丹語

●機屋さんを交えた懇談会で
 大手の機屋さん、問屋さんの多くが丹後各地で消え去ってしまった。その規模が故に小回りがきかなくなり、量から質へ、小ロット短納期と転換するマーケットについていけなくなったのも要因の一つ。ピーク1000万反近い白生地製造規模が、40年を経て40万反になり、なお減少を続けている現実がある。●有名なダーウインの進化論では、今日生き長らえている生物は、決して強かったとか知能が高くて残ったのではない。変化する環境にいち早く対応した生物が結果として種を繋いでいる。マンモスが息絶え、今ネズミやゴキブリが人の家で生命を謳歌している。●進化論になぞれば、今日40万反を生産する機業は変化するマーケットに寄り添いながら、時代に逆らうことなくダウンサイズも含めて企業体質を馴化させてきたともいえるが、残念ながら再び増殖するまでに至っていない。●経営者の時勢判断の目線として「虫の目」「鳥の目」「魚の目」の対応がよく言われるが、昨今世の中の動きはそれだけで判断しかねるほど複雑、複合的で見えづらくなっており、企業経営者も大変になってきた。●それにしても、何の目(?)を以てして膨張を続ける彼の国の先行きを憂うのは、いらぬお節介か。

(M)

広告

地域資源・技術革新企業 (S B I R) 認定事業

単動式電子・新型ダイレクトジャカード

コントローラ		佐和・カヤバ (ダイレクト・電子ジャカード 対応)		
新型ダイレクトジャカード	コントローラ		FD対策	
	AO	Light II	たすけ	
				
特許取得：特許第4747308号 タイプ (西陣・桐生・エンドレス)	<ul style="list-style-type: none"> ・FD・USB・LAN対応 ・CGS⇄CGS II対応 ・故障修正 可能 ・CGS⇄CGS II 互方向変換可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・USB対応 ・CGS II対応 ・タッチパネル 	<ul style="list-style-type: none"> ・FDに換わるUSB読込装置 ・対応：CGS II・CGS ・USB変換ソフト添付 ・一箱のFD枚数は無制限 	
単動式 電子ジャカード (特許取得)	メカジャカードを電子化：横針の曲り・振動による「針落ち」を、フラッシュメモリーで解消 .. ホームページで試作実機映像をご覧頂けます ..			

開発・製造・販売 CSS 株式会社

〒481-0993 愛知県岩倉市菅野町709番地
 TEL (0587) 37-9131 FAX (0587) 37-9061
 URL: <http://www.css-corp.jp/> E-mail: ao@css-corp.jp

広告

SEJ単動電子ジャカード windowsコントローラ搭載



Made in JAPAN 電子ジャカードとして製織現場のご要望にお応えいたします。要求仕様に合わせて200口から8000口までの針数に対応、これからの高品位製織を支えます
 高機能Windows タッチパネルコントローラを標準搭載しています
 標準縦針負荷1000g/1本強化針仕様3000g/1本



SEJ-3072

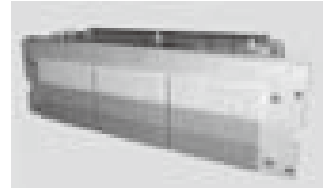
SEJ 単動電子ジャカードの主な製品仕様・タイプ

ロッド駆動式電子ジャカード SEJ-1344, SEJROD16x84 両口平行開口
 チェーン、シャフト駆動電子ジャカード SEJ-1344, SEJ-2688, SEJ-4032, SEJ-8064 両口傾斜・平行開口
 その他 織ネーム織機BSL用電子ジャカード 経編み機用電子ジャカード他

ダイレクト・ジャカード CGS2 Miniコントローラ搭載



現在も佐和式ダイレクトジャカードを製造する国内唯一のメーカーです。西陣ピッチ・桐生ピッチ・エンドレスピッチの各社メカジャカードに対応します。CGS2 フォーマットMini コントローラを標準搭載
 高機能Windowsコントローラ対応今までに培われた豊富な経験と信頼性で西陣織、和装、タオル、インテリア等の生産現場を支えます



高速インドスタワ 1344口300rpmMAX

ダイレクト・ジャカードの主な製品仕様・タイプ

西陣ピッチ 縦カセット400口、600口、900口、1200口 桐生ピッチ一体型1000口
 エンドレスピッチ 896口、1344口、1792口、村田MZ、村田MO、山田V250、ストーブリCR500、マイヤーHJ&SJ等

佐和染織工芸の伝統と技術の継承

これまでに国内1万台以上の実績国内ダイレクトジャカードのスタンダードです

エイチ・ケイ・サムテックは紋織リジャカード装置を通じて製織現場の信頼性を支え続けてまいります

製品のお問い合わせ先

丹後地区代理店

梅田機料品店	京丹後市網野町浜詰678-29	TEL 0772-74-0616
小牧機料品店	与謝郡与謝野町算所463	TEL 0772-43-1121
丹後ダイレクトサービス	与謝郡与謝野町幾地1652	TEL 0772-42-4413
ダイレクト・今井	与謝郡与謝野町石川2324	TEL 0772-42-4445
フナト機工有限会社	京丹後市網野町浜詰678-33	TEL 0772-74-0347

製造元

有限会社エイチ・ケイ・サムテック 岡山県美作市北山1001 TEL 0868-73-6166



売ります 買います

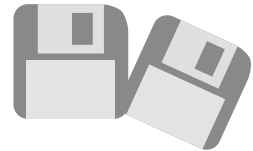
- ①物品名
- ②メーカー
- ③使用程度
- ④希望価格

お問い合わせは渉外係まで【渉外係 0772-68-5307】

売 り ま す

- A ①フロッピーディスク
3.5インチ
②マクセル 他
③新品
④10枚 1,000円
- B ①電動しずけん
②三宅機料
③程度中
④相談の上
- C ①紋処理用パソコン
②NEC PC-9801・9821
④相談の上
- D ①外付けフロッピードライブ
3.5インチ
②LFD-31U4
③程度中
④10,000円

- E ①ダイレクト用フロッピー
ドライブ 3.5インチ
②佐和・カヤバ
③程度中
④8,000円
- F ①ダイレクト用フロッピー
ドライブ 8インチ
②用佐和・カヤバ
③中古
④相談の上



丹後織物の産業遺産を次世代へ

2020 丹後ちりめん
創業300年

丹後産地を支えた 貴重な史料をご恵贈ください

2020年、丹後産地は『丹後ちりめん創業300年』の記念すべき年を迎えます。先人達の弛まぬ努力により今日の丹後産地が築き上げられました。

技術は人から人へと受け継がれてきましたが、歴史を伝える多くの史料は昭和2年3月7日、丹後地域を襲った丹後大震災により焼失し、さらに転廃業による貴重な史料の処分が危惧されています。

組合では丹後ちりめん創業300年を迎えるにあたり、こうした史料を収集・保存し、現代にその偉功を伝え次世代へ伝承させていくと同時に、機会をみて広く一般に公開することで改めて丹後産地の歴史、技術力の高さを再認識していただくべく、このたび組合員の皆さまに史料の提供を呼びかけることにいたしました。

つきましては、江戸時代(あるいはそれ以前)から昭和30年代にかけて使用されていた準備機械・道具類・備品、反物など製織品・着物、古文書、台帳、写真などを所蔵しておられ、組合へご恵贈いただける方は総務1課総務係までご連絡いただきますようお願いいたします。丹後織物の産業遺産として大切に保管させていただきます。なお、史料の保存状態などを確認させていただき、ご恵贈をお断りする場合がありますがご容赦ください。

また、寄贈はできないが貴重な史料を持っているなどの情報提供も併せてお願い申し上げます。

その他、詳細は下記へお問い合わせください。

【連絡・お問い合わせ先】

丹工本部 総務1課 総務係(担当:安田) TEL 0772-68-5211

編集後記

○10月は秋のイベントが各地で催されました。今年は毎土・日曜日が好天に恵まれ、多くの方々が必要なイベントを楽しめたのではないのでしょうか。

○18日に開催した「きものまつり」も、多くの方にご参加いただき、スタッフとしても皆様の笑顔を見ることが、本当に感謝しております。年々参加者が増え、まだまだきものファンは多くいることを実感するとともに、きもの業界の好転に期待が持てそうな良い一日でした。

(MU)

